

平成 27 年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究『成果概要』

研究課題: バイオテロに使用される可能性のある病原体等の新規検出法の確立, 及び細胞培養痘そうワクチンの有効性, 安全性に関する研究

課題番号 : H26-新興行政-指定-002

予定期間 : H26 年度から H28 年度まで

研究代表者 : 西條 政幸

所属研究機関・所属部局: 国立感染症研究所 ウイルス第一部

職名 : 部長

交付額(含む間接経費): 1 年目 30,000,000 円 2 年目 24,000,000 円 合計 54,000,000 円

I. 研究の背景・意義

バイオテロリズムに対する備えの必要性が高まっている。2020 年には東京オリンピックが開催され、また、2016 年には G8 サミットが日本で開催されることになっている。本研究班では、1) 細胞培養痘そうワクチン(LC16m8)に関する研究、2) バイオテロ関連病原体検出法の開発、3) バイオテロにおける臨床的対応に関する研究、4) バイオテロ関連事象発生時に備えた感染研と地方衛生研究所間等とのネットワークの構築、を目的としている。

(1) 細胞培養痘そうワクチン(LC16m8)に関する研究

- A) 備蓄されている細胞培養弱毒生痘そうワクチン(LC16m8)の有効性、安全性、その科学的基盤、製造における効率性、安定性、等を明らかにする。
- B) LC16m8 の暴露後投与の有効性、安全性・有効性における病理学的所見に関する研究が必要である。

(2) バイオテロ関連病原体検出法の開発

- A) 感度および特異性が高い検出法の準備はバイオテロ(疑い)発生時の対応に有効である。
- B) 出血熱ウイルスやアルボウイルス(ウエストナイルウイルス等)の遺伝子検出系の有用性の評価が必要である。
- C) バイオテロに使用される可能性のある病原体遺伝子を病変組織上に迅速に検出する方法、透過型電子顕微鏡検査法による、バイオテロや新興感染症が疑われる場合における病原体を検出する方法を確立する必要がある。
- D) バイオテロに使用される可能性のある真菌(クリプトコックス・ガッティ等)の検出法の確立と改良が求められる。
- E) 消化器系細菌毒素(黄色ブドウ球菌由来エンテロトキシン、腸炎ビブリオ毒素 TDH および TRH、ボツリヌス毒素、志賀毒素)によるバイオテロに備えたについて簡便かつ迅速な免疫学的検査法がない。野外で使用可能な炭疽や野兔病などの BSL3 病原体に対する迅速同定法がない。

(3) バイオテロにおける臨床的対応に関する研究

- A) バイオテロに関する情報源は限られている。各医療機関のバイオテロ対策の必要性に関する認識は乏しい。実際に患者に対応する可能性のある医療機関は必要最低限のバイオテロ対策を実施すべきである。
- B) バイオテロの原因となる病原体に関する情報を簡便に入手する手段は限られている。
- C) バイオテロに対応する国内での検査体制の現状は、十分に把握されていない。

(4) バイオテロ関連事象発生時に備えた感染研と地方衛生研究所間等とのネットワークの構築

- A) 地方衛生研究所(地衛研)におけるバイオテロに使用の可能性のある病原体(特定病原体)検査に関する対応状

況は未把握である。

B) 地方衛生研究所全国協議会や同感染症対策部会を介し、地衛研における特定病原体検査の課題を抽出する。

II. 研究の目的

(1) 痘瘡ワクチンに関する研究

A) LC16m8 の品質管理: 品質管理に有用な、機能復帰株を定量的に検出可能な PCR 法を確立する。LC18m8 ワクチンに関してのデータが整備され防御対策の基盤が確立される。WHO 等国際的貢献に資する重要な知見が得られるものと考えられる。

B) LC16m8 の有用性: LC16m8 株の抗原性を網羅的に測定し第 1 世代の天然痘ワクチンとの比較等により有効性評価を行う。オルソポックスウイルス感染症の重症化の宿主側因子を病理学的に解明する。暴露後の発症、重症化予防ワクチンとしての有効性を明らかにする。

(2) バイオテロ関連病原体検出法の開発

A) 遺伝子検出:

① 基本的概念: バイオテロに使用される可能性のある病原体検出プロトコルをあらかじめ確立しておく。各担当部署にバイオテロ病原体のゲノム情報を迅速に提供できる網羅的病原体検索システムを構築する。

② ウイルス: アルボウイルスや出血熱ウイルスの遺伝子増幅法の有用性の再評価。

③ 細菌と毒素: 黄色ブドウ球菌の各毒素、腸炎ビブリオ毒素 TDH および TRH, ボツリヌス毒素, に対する臨床現場で使用可能な簡便な検査キットの開発。遺伝学的診断に加えて志賀毒素蛋白そのものを検出することで診断の精度を上げる。

④ 真菌: クリプトコックス・ガッティ DNA の迅速検出用 LAMP 法の検討を行った。コクシジオイデスゲノム DNA およびヒストプラスマゲノム DNA に対する乾燥型 LAMP 法キットによる検出限界を決定し、複数の臨床分離株を用いて核酸検出を検討した。BSL3 施設における真菌取り扱いマニュアルを作成した。

⑤ 病理: 病理組織中に病原体ゲノムを検出するための in situ 核酸検出法を確立する。電子顕微鏡検査法を用いた病原体を迅速に検出するために感度と精度を向上するための改良を検討する。

(3) バイオテロにおける臨床的対応に関する研究

A) バイオテロに関する情報入手先である HP の充実、バイオテロ対策の具体的なガイドラインを示すことによるバイオテロ対策に関する医療機関の認識を高める。

(4) バイオテロ関連事象発生時に備えた感染研と地方衛生研究所間等とのネットワークの構築

地衛研における特定病原体検査の対応状況が把握可能となる。地衛研の特定病原体検査体制や情報共有ネットワークを整備・構築する。地衛研における特定病原体検査の課題を抽出し、課題を克服することにより、地域における正確で迅速な検査が可能となる。地方衛生研究所等におけるバイオテロ関連病原体の検査体制を把握する。

III. 2 年間の研究成果

・研究代表者(西條政幸)

(1) 本研究班の研究推進を統括した。

(2) Global Health Security Action Group-Laboratory Network (GHSAG-LN) におけるバイオテロ対策分野における連携を確認した。

・研究分担者(田島茂)

- (1) 現行の検出系と最近発表されたウイルス検出系は、lineage3 を検出できないことが明らかとなった。
 - ・ 研究分担者(下島昌幸)
- (1) 感染研で準備されているエボラウイルス検出法では、分離時期に関係なくすべてのエボラウイルスを検出できた。
 - ・ 研究分担者(吉河智城)
- (1) エクトメリアウイルス感染マウスモデルでは LC16m に暴露後接種に発症予防効果は確認されなかった。
 - ・ 研究分担者(森川茂)
- (1) LC16m8 ワクチンの B5R 遺伝子の塩基重複等による機能復帰株を定量的に検出する遺伝子検査法を確立した。
- (2) 昆虫細胞及び哺乳類細胞でエボラウイルスの GP を発現する組換えバキュロウイルスをそれぞれ作製した。
 - ・ 研究分担者(梅山隆)
- (1) BSL3 施設における真菌取り扱いマニュアルを作成した。
- (2) コクシジオイデスゲノム、ヒストプラスマゲノム、リプトコックス・ガッティの遺伝子増幅 LAMP 法キットを評価した。
 - ・ 研究分担者(黒田誠)
- バイオテロ病原体データベースを拡充し、炭疽菌ゲノム分子系統解析用メタゲノム解析ツール MePIC2 を改良した。
 - ・ 研究分担者(中島典子)
- (1) 独自開発 in situ hybridization AT-tailing (ISH-AT) 法は市販の分岐オリゴプローブを用いた RNA in situ hybridization 法よりコストパフォーマンスと汎用性の面から優れていた。蛍光二重染色にも応用可能であった。
 - ・ 研究分担者(永田典代)
- (1) 電子顕微鏡による病原体検出: 迅速樹脂包埋法, 走査電子顕微鏡を利用した新規ウイルス粒子検出法, および血中のウイルス粒子の迅速検出法を検討した。Robert Koch 研究所主催外部評価に参加し, 技術向上を行った。GHSAG-LN 主催の電子顕微鏡による病原体迅速診断方法に関するワークショップに参加し技術向上に努めた。
 - ・ 研究分担者(小林和夫)
- (1) 特定病原体検査対応状況を把握するため、アンケート調査を実施した。課題克服について、改善状況を集約した。
- (2) 地方衛生研究所全国協議会や同感染症対策部会で当該研究の理解や協力を得た。
- (3) 地方衛生研究所全国協議会感染症対策部会員から特定病原体検査の課題を抽出し、改善策を示した。
 - ・ 研究分担者(倉園久生)
- (1) 黄色ブドウ球菌エンテロトキシン, 腸炎ビブリオ毒素, ボツリヌス A 型毒素, これらの毒素の検査法構築のための抗体の作製を試みた。志賀毒素(Stx1 & Stx2)に対する高感度ビーズ ELISA 系を設置した。
- (2) モンゴル国立研究所と共同し, 炭疽菌, ペスト菌等 BSL3 病原体を屋外で検出する方法の有用性を評価した。
 - ・ 研究分担者(鯉淵智彦)
- (1) 地方衛生研究所等に検査可能病原体に関するアンケート調査を行い, 国内の検査体制の現状を把握した。
- (2) エボラ出血熱や国内発生した Dengue 熱の情報を HP に追加し, 内容の充実を図ることができた。
 - ・ 研究分担者(松本哲哉)
- (1) オリンピックなどを想定した改訂や今後の啓発活動が重要であり, バイオテロ対策ガイドラインの案を作成した。これまで海外で開催されたオリンピックの際の対応策等について情報収集を行った。
 - ・ 研究分担者(金谷泰宏)
- (1) LC16m8 を接種された米国人血清中の抗体を網羅的に解析し LC16m8 の有効性評価に寄与する知見を得た。ワクチン接種後, 数ヶ月から 4 年の長期にわたり血清中に産生されている抗体についての解析を進めた。
 - ・ 研究分担者(横手公幸)

- (1) 細胞培養弱毒痘そうワクチン LC16m8 の成人接種者検体を用いた追加解析:天然痘テロに対する危機管理対策として、LC16m8 を 1 回接種された成人被接種者が獲得した中和抗体(Anti-Lister PRNT)の持続を調査した。中和抗体陽性率については再種痘群では経時的な変化は認められなかったが、初種痘群では低下傾向が認められ、約 4 年後には抗体陽性率が約 60%となった。
- (2) 細胞培養弱毒痘そうワクチン LC16m8 の成人接種者検体の痘そうウイルスに対する中和抗体測定解析:米国 CDC と共同して LC16m8 接種により痘瘡ウイルスに対する中和抗体誘導できることを確認した。
- (3) 乾燥細胞培養痘そうワクチンの長期保管における安定性評価に関する検討:化血研製造ロット(V03, V04 及び V06)の長期保存安定性試験において、保管後、108 箇月目の検体の規格試験結果もいずれも適合した。

IV. 平成 28 年度の課題

- (1) 痘瘡ワクチン LC16m8 に関する研究:備蓄されているワクチン製剤の品質評価の継続が求められる。また、LC16m8 の有効性と安全性等の解析、LC16m8 ワクチンの B5R 遺伝子の機能復帰株検出系を改良し、その品質管理評価における有用性を検証するが必要である。
- (2) バイオテロ関連病原体検出法の開発:バイオテロに使用される可能性のある病原体の迅速検出システム開発が必要である。GHSAG-LN 等での活動連携を通じた国際的なバイオテロ対策動向を把握することも求められる。
- (3) バイオテロにおける臨床的対応に関する研究:オリンピックなどを想定したバイオテロ対策の具体案の提示と各医療機関に向けた啓発活動、バイオテロ疑い発生時の相談窓口の開設に関する問題点の検討、HP の一般公開を目指すにあたり、サイバー攻撃など想定される問題点への対策を強化する。
- (4) バイオテロ関連事象発生時に備えた感染研と地方衛生研究所間等とのネットワークの構築:地方衛生研究所全国協議会や同感染症対策部会と共同し、検査体制や情報共有ネットワークを整備・構築する。

V. 行政施策への貢献

- (1) 痘瘡ワクチン LC16m8 に関する研究:LC16m8 の有用性・安全性を担保する。
- (2) バイオテロ関連病原体検出法の開発:バイオテロ発生における迅速な対応が可能となる体制を構築する。
- (3) バイオテロ関連事象発生時に備えた感染研と地方衛生研究所間等とのネットワークの構築:検査体制や情報共有ネットワークの構築により、地衛研、各自治体衛生主管部や厚生労働省など連携が強化する。

VI. 本研究の成果一覧(発表論文・ガイドライン・マニュアル等)

- (1) Yamashita A, Sekizuka T, Kuroda M. GcoGSA-BA: A Global Core Genome SNP Analysis for *Bacillus anthracis*. Health Secur 13, 64-68 (2015).
- (2) Nishiyama Y, Matsukuma S, Matsumura T, Kanatani Y, Saito T. Preparedness for a smallpox pandemic in Japan: public health perspectives. Disaster Med Public Health Prep. 2015 Apr;9(2):220-3.
- (3) Eto A, Saito T, Yokote H, Kurane I, Kanatani Y. Recent advances in the study of live attenuated cell-cultured smallpox vaccine LC16m8. Vaccine. 2015 Nov 9;33(45):6106-11 Review
- (4) Nishiyama Y, Fujii T, Kanatani Y, Shinmura Y, Yokote H, Hashizume S. Freeze-dried live attenuated smallpox vaccine prepared in cell culture "LC16-KAKETSUKEN": Post-marketing surveillance study on safety and efficacy compliant with Good Clinical Practice. Vaccine. 2015 Nov 9;33(45):6120-7.
- (5) 中島典子:季節性および鳥インフルエンザウイルス感染症の病理 病理と臨床 33: 1146-1153, 2015.
- (6) Ueno K, Kinjo Y, Okubo Y, Aki K, Urai M, Kaneko Y, Shimizu K, Wang D, Okawara A, Nara T, Ohkouchi K, Mizuguchi Y, Kawamoto S, Kamei K, Ohno H, Niki Y, Shibuya K, Miyazaki Y. Dendritic cell-based

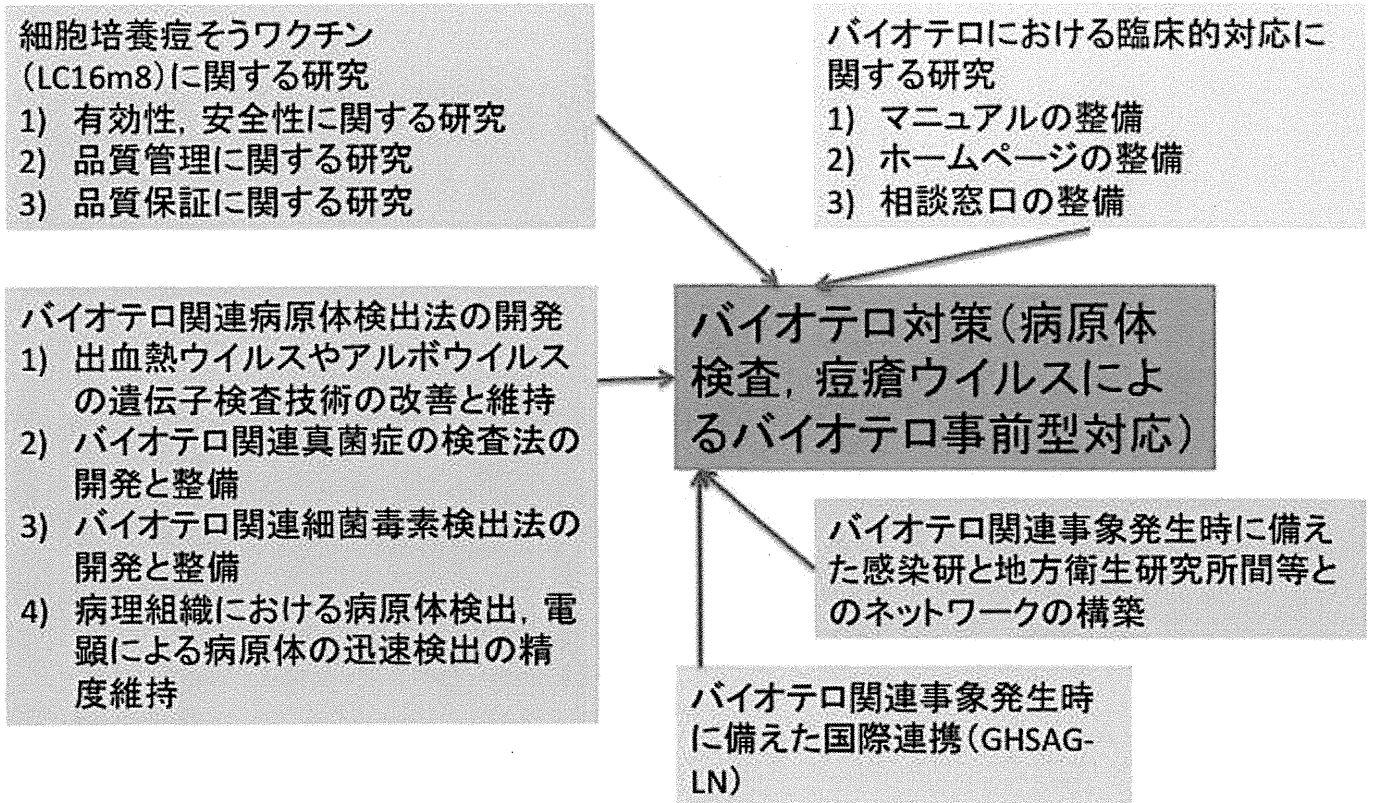
immunization ameliorates pulmonary infection with highly virulent *Cryptococcus gattii*. *Infection and Immunity*. 83(4):1577–1586. 2015.

- (7) Ikeda-Dantsuji Y, Ohno H, Tanabe K, Umeyama T, Ueno K, Nagi M, Yamagoe S, Kinjo Y, Miyazaki Y. Interferon- γ promotes phagocytosis of *Cryptococcus neoformans* but not *Cryptococcus gattii* by murine macrophages. *J Infect Chemother*. 2015 Dec;21(12):831-6.

VII. (2年間の研究成果)の概要図等

※ポンチ絵等でわかりやすく簡潔に説明してください。

平成27年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究『成果概要』
バイオテロに使用される可能性のある病原体等の新規検出法の確立、及び細胞培養痘そうワクチンの有効性、安全性に関する研究



●研究代表者の研究歴等

※研究代表者に関するもののみを記載してください。(研究代表者には下線をつけて下さい)

・過去に所属した研究機関の履歴

昭和62年3月旭川医科大学医学部卒業(医学士)

平成3年3月旭川医科大学医学研究科(大学院)生体防御機構系修了(医学博士)

昭和62年5月から小児科医として旭川医科大学付属病院及び関連病院小児科で勤務した。

平成7年6月から平成8年5月まで、JICAザンビア感染症対策専門家としてザンビア大学医学部に派遣される。

平成9年4月から国立感染症研究所ウイルス第一部研究員(外来性ウイルス室)、平成11年4月から同主任研究官、平成19年11月から同第三室長、平成22年10月から国立感染症研究所ウイルス第一部長を務めている。

食品安全委員会・微生物ウイルス専門部会委員を務め、A型肝炎、E型肝炎のリスクプロファイルやニパウイルス、ウエストナイルウイルス等のファクトシート作成を担当した。

また、ウイルス性出血熱-診療の手引き-(厚生労働科学研究補助金「我が国における一類感染症の患者発生に備えた診断・治療・予防等の臨床的対応及び積極的疫学調査に関する研究」)やエボラ出血熱疑い患者発生時の検査を担当している。

・主な共同研究者(又は指導を受けた研究者)

申請者(西條)は、昭和62年から平成9年まで旭川医科大学小児科(吉岡一教授、奥野晃正教授に師事)にて小児の感染症および悪性腫瘍(骨髄移植を含む)患者の治療に従事した。また、医学部卒業後、感染症学の研究(特にウイルス感染症)に従事している。ヘルペスウイルス感染症の研究においては、悪性腫瘍患者や免疫不全患者における単純ヘルペスウイルス感染症の病態解析、薬剤耐性ヘルペスウイルス感染症、治療法の開発と評価、等の研究を行っている。平成9年からは国立感染症研究所ウイルス第一部[倉根一郎部長(現、感染研所長)、森川茂室長(現、感染研獣医学部長)に師事]に所属し、新興ウイルス感染症の診断法開発、疫学、基礎ウイルス学の研究にも従事している。最近では、高い致死率の感染症を引き起こすウイルス性出血熱(エボラ出血熱等)、日本で流行が確認された SFTS、バイオセーフティ・バイオセキュリティ向上のための研究に従事している。平成19年度旭川医科大学同窓会第7回学術奨励賞を受賞した。

・主な研究課題

- (1) ウイルス性出血熱の診断・疫学・ワクチン開発
- (2) 重症熱性血小板減少症候群等を含む新興ウイルス感染症
- (3) 臓器移植患者におけるウイルス感染症(薬剤耐性単純ヘルペスウイルス感染症)
- (4) 進行性多巣性白質脳症(JC ウイルス感染症)
- (5) 抗ウイルス薬
- (6) 小児呼吸器ウイルス感染症
- (7) 小児感染症

・これまでの研究実績

※研究代表者の本研究の成果以外の実績も記載してください。

(成果概要VIと重複するものや本研究成果によるものは、**太字・斜体**文字で記載してください)

※発表論文名・学協会誌名・発表年(西暦), 知的財産権の取得及び申請状況, 研究課題の実施を通じた政策提言
(寄与した指針又はガイドライン等)のうち, 主なものを選択し, 直近年度から順に記載してください。

<論文・著書>

1. Shimojima M, Fukushi S, Tani H, Taniguchi S, Fukuma A, **Saijo M**. Combination effects of ribavirin and interferons on severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection. *Virol J* 12:181, 2015
2. Singh H, Yoshikawa T, Kobayashi T, Fukushi S, Tani T, Taniguchi S, Fukuma A, Yang M Sugamata M, Shimojima M, **Saijo M**. Rapid whole genome sequencing of Miyazaki-Bali/2007 pteropine orthoreovirus by modified rolling circular amplification with adaptor ligation - next generation sequencing. *Scientific Report* 5:16517, 2015
3. Tajima S, Yagasaki K, Kotaki A, Tomikawa T, Nakayama E, Moi ML, Lim CK, **Saijo M**, Kurane I, Takasaki T. In vitro Growth, Pathogenicity, and Serological Characteristics of the Japanese Encephalitis Virus Genotype V Muar strain. *J Gen Virol* 96(9):2661-2669, 2015
4. Fukuma A, Tani H, Taniguchi S, Shimojima M, **Saijo M**, Fukushi S. Inability of rat DPP4 to allow MERS-CoV infection revealed by using a VSV pseudotype bearing truncated MERS-CoV spike protein. *Archives of Virology* 160(9):2293-300, 2015
5. Singh H, Shimojima M, Ngoc TC, Quoc Huy NV, Chuong TX, Le Van A, **Saijo M**, Yang M, Sugamata M. Serological evidence of human infection with Pteropine orthoreovirus in Central Vietnam. *J Medl Virol* 87(12):2145-8, 2015
6. Ohagi Y, Tamura S, Nakamoto C, Nakamoto H, **Saijo M**, Shimojima M, Nakano Y, Fujimoto T. Mild clinical course of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus infection in an elderly Japanese patient. *Case Rep Infect Dis* 2014:918135, 2014
7. Yoshikawa T, Shimojima M, Fukushi S, Tani H, Fukuma A, Taniguchi S, Singh H, Suda Y, Shirabe K, Toda S, Shimazu Y, Nomachi T, Gokuden M, Morimitsu T, Ando K, Yoshikawa A, Kan M, Uramoto M, Osako H, Kida K, Takimoto H, Kitamoto H, Terasoma F, Honda A, Maeda K, Takahashi T, Yamagishi T, Oishi K, Morikawa S, **Saijo M**. Phylogenetic and geographic relationships of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in China, South Korea, and Japan. *J Infect Dis* 212(6):889-98, 2015
8. Moi ML, Ami Y, Shirai K, Lim CK, Suzaki Y, Saito Y, Kitaura K, **Saijo M**, Suzuki R, Kurane I, Takasaki T. Formation of infectious dengue virus-antibody complex in vivo in marmosets (*Callithrix jacchus*) after passive transfer of anti-dengue virus monoclonal antibodies and infection with dengue virus. *Am J Trop Med Hyg* 92:370-376, 2015
9. **西條政幸**. 重症熱性血小板減少症候群: まれではあるが致命率の高いダニ媒介性ウイルス感染症. *科学* 85(6):559-562, 2015
10. **西條政幸**. ウイルス性出血熱. *感染炎症免疫* 45(1)2-9, 2015
11. **西條政幸**, 森田公一. エボラウイルス病の国内対策: BSL-4 施設の必要性. *ウイルス* 65(1):89-84, 2015

12. 福間藍子, **西條政幸**. マダニが媒介する新しい感染症 –重症熱性血小板減少症候群-. デルマ (Derma) 233:55-62, 2015
13. **西條政幸**. 常時警戒すべき輸入感染症 –日本において監視されるべき輸入感染症-. 化学療法の領域 31(6):1333-1338, 2015
14. **西條政幸**. 新興ウイルス感染症. Visual Dermatology 14(8):928-931, 2015
15. **西條政幸**. 新興・再興ウイルス感染症-SFTS, MERS および EVD-. 現代化学 534(9):18-21, 2015
16. **西條政幸**. 【エボラ出血熱とマールブルグ病】疫学と感染症対策のあり方. 医学のあゆみ 253:19-25, 2015
17. **西條政幸**. 新興ウイルス感染症:重症熱性血小板減少症候群, 新規コロナウイルス, トリインフルエンザウイルス感染症. 日本小児科学会雑誌 119:538-545, 2015
18. Yoshikawa T, Fukushi S, Tani H, Fukuma A, Taniguchi S, Toda S, Shimazu Y, Yano K, Morimitsu T, Ando K, Yoshikawa A, Kan M, Kato N, Motoya T, Kuzuguchi T, Nishino Y, Osako H, Yumisashi T, Kida K, Suzuki F, Takimoto H, Kitamoto H, Maeda K, Takahashi T, Yamagishi T, Oishi K, Morikawa S, **Saijo M**, Shimojima M. Sensitive and specific PCR systems for detection of both Chinese and Japanese severe fever with thrombocytopenia syndrome virus strains and prediction of patient survival based on viral load. J Clin Microbiol 52(9):3325-3333, 2014
19. Yamanaka A, Iwakiri A, Yoshikawa T, Sakai K, Singh H, Himeji D, Kikuchi I, Ueda A, Yamamoto S, Miura M, Shioyama Y, Kawano K, Nagaishi T, Saito M, Minomo M, Iwamoto N, Hidaka Y, Sohma H, Kobayashi T, Kanai Y, Kawagishi T, Nagata N, Fukushi S, Mizutani T, Tani H, Taniguchi S, Fukuma A, Shimojima M, Kurane I, Kageyama T, Odagiri T, **Saijo M**, Morikawa S. Imported case of acute respiratory tract infection associated with a member of species nelson bay orthoreovirus. PLoS One 9(3):e92777, 2014
20. Hiraki T, Yoshimitsu M, Suzuki T, Goto Y, Higashi M, Yokoyama S, Tabuchi T, Futatsuki T, Nakamura K, Hasegawa H, **Saijo M**, Kakihana Y, Arima N, Yonezawa S. Two autopsy cases of severe fever with thrombocytopenia syndrome (SFTS) in Japan: A pathognomonic histological feature and unique complication of SFTS. Pathol Int 64(11):569-75, 2014
21. Bukbuk DN, Fukushi S, Tani H, Yoshikawa T, Taniguchi S, Iha K, Fukuma A, Shimojima M, Morikawa S, **Saijo M**, Kasolo F, Baba SS. Development and validation of serological assays for viral hemorrhagic fevers and determination of the prevalence of Rift Valley fever in Borno State, Nigeria. Trans R Soc Trop Med Hyg 108(12):768-73, 2014
22. Shimojima M, Fukushi S, Tani H, Yoshikawa T, Fukuma A, Taniguchi S, Suda Y, Maeda K, Takahashi T, Morikawa S, **Saijo M**. Effects of ribavirin on severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in vitro. Jpn J Infect Dis 67(6):423-7, 2014
23. Tani H, Iha K, Shimojima M, Fukushi S, Taniguchi S, Yoshikawa T, Kawaoka Y, Nakasone N, Ninomiya H, **Saijo M**, Morikawa S. Analysis of Lujo virus cell entry using pseudotype vesicular stomatitis virus. Journal of Virology 88(13):7317-7330, 2014
24. Takahashi T, Maeda K, Suzuki T, Ishido A, Shigeoka T, Tominaga T, Kamei T, Honda M, Ninomiya D, Sakai T, Senba T, Kaneyuki S, Sakaguchi S, Satoh A, Hosokawa T, Kawabe Y, Kurihara S, Izumikawa K, Kohno S, Azuma T, Suemori K, Yasukawa M, Mizutani T, Omatsu T, Katayama Y, Miyahara M, Ijuin M, Doi K, Okuda M, Umeki K, Saito T, Fukushima K, Nakajima K, Yoshikawa T, Tani H, Fukushi S, Fukuma A, Ogata M,

- Shimajima M, Nakajima N, Nagata N, Katano H, Fukumoto H, Sato Y, Hasegawa H, Yamagishi T, Oishi K, Kurane I, Morikawa S, **Saijo M**. J Infect Dis 209(6):816-27, 2014
25. **西條政幸**. 拡大するエボラウイルス感染症の状況をよむ. 科学 84(11):1120-1125, 2014
26. **西條政幸**. エボラ出血熱. 臨床と微生物 42:63-68, 2014
27. Tajima S, Kotaki A, Yagasaki K, Taniwaki T, Moi ML, Nakayama E, **Saijo M**, Kurane I, Takasaki T. Identification and amplification of Japanese encephalitis virus and Getah virus propagated from a single porcine serum sample: a case of coinfection. Arch Virol 159(11):2969-75, 2014
28. Nagata N, **Saijo M**, Kataoka M, Ami Y, Suzaki Y, Sato Y, Iwata-Yoshikawa N, Ogata M, Kurane I, Morikawa S, Sata T, Hasegawa H. Pathogenesis of fulminant monkeypox with bacterial sepsis after experimental infection with West African monkeypox virus in a cynomolgus monkey. Int J Clin Exp Pathol 7(7):4359-70, 2014
29. Orba Y, Sasaki M, Yamaguchi H, Ishii A, Thomas Y, Hang'ombe BM, Mweene AS, Morikawa S, **Saijo M**, Sawa H. Orthopoxvirus infection among wildlife in Zambia. J Gen Virol 96:390-394, 2014. Moi ML, Takasaki T, Omatsu T, Nakamura S, Katakai Y, Ami Y, Suzaki Y, **Saijo M**, Akari H, Kurane I. Demonstration of marmosets (*Callithrix jacchus*) as a non-human primate model for secondary dengue virus infection: high levels of viraemia and serotype cross-reactive antibody responses consistent with secondary infection of humans. Journal of General Virology 95(Pt 3):591-600, 2014.
30. Takayama-Ito M, Nakamichi K, Kinoshita H, Kakiuchi S, Kurane I, **Saijo M**, Lim CK. A sensitive in vitro assay for the detection of residual viable rabies virus in inactivated rabies vaccines. Biologicals 42(1):42-7, 2014
31. Moi ML, Takasaki T, **Saijo M**, Kurane I. Determination of antibody concentration as the main parameter in a dengue virus antibody-dependent enhancement assay using FcγR-expressing BHK cells. Archives of Virology 159(1):103-116, 2014
32. 石堂亜希, 重岡徹, 富永貴元, 末広泰子, 福士秀悦, 下島昌幸, **西條政幸**, 高橋徹. 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)様の症状を呈した患者における抗 SFTS ウイルス抗体の検討. 山口医学 63:257-261, 2014
33. **西條政幸**. 日本における重症熱性血小板減少症候群と今後の課題. 日本内科学会雑誌 103:2581-2586, 2014
34. **西條政幸**. 日本におけるマダニ媒介性ウイルス感染症の発見 -TBE と SFTS-. 小児科臨床 67:1245-1249, 2014
35. **西條政幸**. 重症熱性血小板減少症候群(SFTS ウイルス感染症). 日本医師会雑誌 感染症診療 update 143 特別号(2): S398-399, 2014
36. **西條政幸**, 福士秀悦. 新興ウイルス感染症:MERS-コロナウイルス感染症. 呼吸 33(2):160-165, 2014
37. 谷英樹, **西條政幸**. 重症熱性血小板減少症候群. 臨床検査 58(4):467-473, 2014
38. **西條政幸**. ウイルス性出血熱. 臨床と研究 90(12):1662-1665, 2013
39. 下島昌幸, **西條政幸**. ダニ媒介性新興感染症 SFTS. 実験医学 31(19):3047-3053, 2013
40. **西條政幸**. 重症熱性血小板減少症候群. Medical Technology 41(12):1275-1277, 2013
41. **Saijo M**. Dual use research of concern issues in the field of Microbiology Research in Japan. Journal of Disaster Research 8:693-697, 2013
42. Nakayama E, **Saijo M**. Animal models for Ebola and Marburg virus infections. Frontiers in Microbiology 4:267, 2013
43. Wang LX, Yamaguchi-(Kinoshita) Hitomi, Satsuki Kakiuchi, Suzutani T, Nakamichi K, Lim CK, Kurane I, **Saijo M**. Characterization of the DNA polymerase-associated acyclovir-resistant herpes simplex virus type 1

- (HSV-1): mutations, sensitivities to antiviral compounds, neurovirulence, and in-vivo sensitivity to treatment. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 66(5):404-410, 2013
44. 下島昌幸, 西條政幸. ダニ媒介性重症熱性血小板減少症候群について. *ファルマシア* 49(11):1085-1089, 2013
 45. 福士秀悦, 西條政幸. 重症熱性血小板減少症候群. *皮膚病診療* 35(9):822-826, 2013
 46. Sakai K, Yoshikawa T, Seki F, Fukushi S., Tahara M, Nagata N, Ami Y, Mizutani T, Kurane I, Yamaguchi R, Hasegawa H, **Saijo M**, Komase K, Morikawa S, Takeda M. Canine distemper virus associated with a lethal outbreak in monkeys can readily adapt to use human receptors. *Journal of Virology* 87(12):7170-5, 2013
 47. Mikita K, Maeda T, Fujikura Y, Kozaki Y, Hara Y, Kanoh S, Kishida S, **Saijo M**, Nakamichi K, Kawana A. Does anti-JCV therapy improve the prognosis of AIDS-related PML? *Clinical Neurology and Neurosurgery* 115(9):1853-4, 2013
 48. Moi ML, Takasaki T, **Saijo M**, Kurane I. Dengue virus infection-enhancing activity of undiluted sera obtained from patients with secondary dengue virus infection. *Transaction of Royal Society of Tropical Medicine and Hygiene* 107(1):51-8, 2013
 49. Nagayama S, Gondo Y, Araya S, Minato N, Fujita-Nakata M, Kaito M, Nakanishi M, Tanaka K, Yamaya H, Yokoyama H, Nakamichi K, **Saijo M**, Okamoto K, Toyoshima Y, Kakita A, Matsui M. Progressive multifocal leukoencephalopathy developed 26 years after renal transplantation. *Clinical Neurology and Neurosurgery* 115(8):1482-4, 2013
 50. Ishioka K, Ikuta K, Sato Y, Kaneko H, Sorimachi K, Fukushima E, **Saijo M**, Suzutani T. Herpes simplex virus type 1 virion-derived US11 inhibits type 1 interferon-induced protein kinase phosphorylation. *Microbiology Immunology* 57(6):426-436, 2013
 51. Satho T, Nagano Y, Eshita Y, Hisatomi Y, Sakata A, Miyata T, Kashige N, Miyake F, Runtuwene LR, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S, Mizutani T. Inhibitory effects of JNK on *Aedes albopictus* early larval development. *Urban Pest Management* 2:7-13, 2013
 52. Kobayashi Z, Akaza M, Numasawa Y, Ishihara S, Tomimitsu H, Nakamichi K, **Saijo M**, Morio T, Shimizu N, Sanjo N, Shintani S, Mizusawa H. Failure of mefloquine therapy in progressive multifocal leukoencephalopathy: Report of two Japanese patients without human immunodeficiency virus infection. *Journal of Neurological Science* 324,190-194, 2013
 53. Nakamichi K, Kishida S, Tanaka K, Sukanuma A, Sano Y, Sano H, Kanda T, Maeda N, Kira JI, Itoh A, Kato N, Tomimoto H, Kurane I, Lim CK, Mizusawa H, **Saijo M**. Sequential changes in the non-coding control region sequences of JC polyomaviruses from the cerebrospinal fluid of patients with progressive multifocal leukoencephalopathy. *Archives of Virology* 158(3):639-50, 2013
 54. Sakai K, Nagata N, Ami Y, Seki F, Suzuki Y, Iwata-Yoshikawa N, Suzuki T, Fukushi S, Mizutani T, Yoshikawa T, Otsuki N, Kurane I, Komase K, Yamaguchi R, Hasegawa H, **Saijo M**, Takeda M, Morikawa S. Lethal canine distemper virus outbreak in cynomolgus monkeys in Japan in 2008. *Journal of Virology* 87:1105-1114, 2013
 55. Kakiuchi S, Nonoyama S, Wakamatsu H, Kogawa K, Wang L, Kinoshita-Yamaguchi H, Takayama-Ito M, Lim CK, Inoue N, Mizuguchi M, Igarashi T, **Saijo M**. Neonatal herpes encephalitis caused by a virologically confirmed acyclovir resistant herpes simplex virus type 1. *Journal of Clinical Microbiology* 51(1):356-9, 2013
 56. Katano H, Sato S, Sekizuka T, Kinumaki A, Fukumoto H, Sato Y, Hasegawa H, Morikawa S, **Saijo M**, Mizutani T, Kuroda M. Pathogenic characterization of a cervical lymph node derived from a patient with

- Kawasaki disease. *International Journal of Clinical Experimental Pathology* 5(8):814-23, 2012
57. Nakamichi K, Mizusawa H, Yamada M, Kishida S, Miura Y, Shimokawa T, Takasaki T, Lim CK, Kurane I, **Saijo M**. Characteristics of progressive multifocal leukoencephalopathy clarified through internet-assisted laboratory surveillance in Japan. *BMC Neurology* 12:121, 2012
58. Watanabe M, Suyama K, Hashimoto K, Sato M, Ohara S, Abe Y, Kawasaki Y, Yamaguchi S, **Saijo M**, Hosoya M. Mumps virus-associated acute encephalopathy: case report and review of the literature. *Journal of Child Neurology* 28:243-245, 2013
59. Sayama Y, Demetria C, Saito M, Azul RR, Taniguchi S, Fukushi S, Yoshikawa T, Iizuka I, Mizutani T, Kurane I, Malbas FF Jr, Lupisan S, Catbagan DP, Animas SB, Morales RG, Lopez EL, Dazo KR, Cruz MS, Olveda R, **Saijo M**, Oshitani H, Morikawa S. A seroepidemiologic study of Reston ebolavirus in swine in the Philippines. *BMC Veterinary Research* 8:82, 2012
60. Yamaguchi Y, Nukui Y, Kotaki A, Sawabe K, **Saijo M**, Watanabe H, Kurane I, Takasaki T, Tajima S. Characterization of a serine-to-asparagine substitution at position 123 in the Japanese encephalitis virus E protein. *Journal of General Virology* 94:90-96, 2013
61. **西條政幸**. 臓器移植患者におけるヘルペスウイルス感染症の診断・治療・予防マニュアル. 平成 23 年度厚生労働科学研究補助金/新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業(研究代表者西條政幸)
62. Taniguchi, S., Sayama, Y., Nagata, N., Ikegami, T., Miranda, M.E., Watanabe, S., Iizuka, I., Fukushi, S., Mizutani T, Ishii Y, **Saijo M**, Akashi H, Yoshikawa Y, Kyuwa S, Morikawa S. Analysis of the humoral immune responses among cynomolgus macaque naturally infected with Reston virus during the 1996 outbreak in the Philippines. *BMC Veterinary Research* 8(1):189, 2012
63. Marzi A, Yoshida R, Miyamoto H, Ishijima M, Suzuki Y, Higuchi M, Matsuyama Y, Igarashi M, Nakayama E, Kuroda M, **Saijo M**, Feldmann F, Brining D, Feldmann H, Takada A. Protective efficacy of neutralizing monoclonal antibodies in a nonhuman primate model of ebola hemorrhagic fever. *PLoS One* 7(4):e36192, 2012
64. 水澤英洋, 岸田修二, **西條政幸**, 雪下基弘, 宍戸-原由紀子, 澤洋文, 長島和郎, 奴久妻聡一, 山田正仁. 難治性神経感染症 update 進行性多巣性白質脳症. *臨床神経学* 51:1051-1057, 2011
65. **西條政幸**. アシクロビルと耐性ウイルス感染症. *小児科臨床* 65:527-531, 2012
66. Fukushi S, Nakauchi M, Mizutani T, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Antigen-capture ELISA for the detection of Rift Valley fever virus nucleoprotein using new monoclonal antibodies. *Journal of Virological Methods* 180:68-74, 2012
67. Kato F, Kotaki A, Yanaguchi Y, Shiba H, Hosono K, Harada S, **Saijo M**, Kurane I, Takasaki T, Tajima S. Identification and characterization of small deletions in the 3' non-translated region of the Japanese encephalitis virus. *Virus Gene* 44:191-197, 2012
68. Kennedy JS, Gurwith M, Kenner J, Morikawa S, **Saijo M**, Yokote H, Edwards K, Dekker CL, Frey S, Rogge PT, Damon I, Greenberg R.N. Safety and immunogenicity of LC16m8, an attenuated smallpox vaccine in vaccinia-naïve adults. *Journal of Infectious Diseases* 204:1395-1402, 2011
69. Taniguchi S, Watanabe S, Masangkay JS, Omatsu T, Ikegami T, Alviola P, Ueda N, Iha K, Fujii H, Ishii Y, Mizutani T, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Kyuwa S, Akashi H, Yoshikawa Y, Morikawa S. Reston ebolavirus antibodies in Bats, the Philippines. *Emerging Infectious Diseases* 17:1559-1560, 2011
70. Shiota T, Kurane I, Morikawa S, **Saijo M**. Long-term observation of HSV-1 infections in a child with Wiskott-Aldrich syndrome and possible mechanism of TK-negative HSV-1 in humans. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 64:121-126, 2011
71. Sayama Y, Eshita Y, Yamao T, Mishimura M, Sato T, Srisawat R, Komalamisra N, Rongsriyam Y, Sakai K, Fukushi S, **Saijo M**, Oshitani H, Kurane I, Morikawa S, Mizutani T. Prevalence of Phasi Charoen virus in female mosquitos. *Journal of Parasitology and Vector Biology* 3:19-21, 2011
72. Shiota T, Wang L, Ito M, Iizuka I, Ogata M, Tsuji M, Nishimura H, Taniguchi S, Morikawa S, Kurane I,

- Mizuguchi M, **Saijo M**. Expression of herpes simplex virus type 1 recombinant thymidine kinase and its application to a rapid antiviral sensitivity assay. *Antiviral Research* 91:142-149, 2011
73. Nakamichi K, Kurane I, **Saijo M**. Evaluation of a quantitative real-time PCR assay for detection of JC polyomavirus DNA in cerebrospinal fluid without the need for nucleic acid extraction. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 64:211-216, 2011
74. **西條政幸**. バイオテロリズムに用いられる可能性のある病原体と国立感染症研究所における対応: 出血熱ウイルスと痘瘡ワクチン. *日本犯罪学会雑誌* 77:63-66, 2011
75. Moi ML, Lim CK, Tajima S, Kotaki A, **Saijo M**, Takasaki T, Kurane I. Dengue virus isolation relying on antibody-dependent enhancement mechanism using Fc β gammaR-expressing BHK cells and a monoclonal antibody with infection-enhancing capacity. *Journal of Clinical Virology* 52:225-230, 2011
76. Mizutani T, Sayama Y, Nakanishi A, Ochiai H, Sakai K, Wakabayashi K, Tanaka N, Miura E, Oba M, Kurane I, **Saijo M**, Morikawa S, Ono, SI. Novel DNA virus isolated from samples showing endothelial cell necrosis in the Japanese eel, *Anguilla japonica*. *Virology* 412:179-187, 2011
77. Nakamichi K, Takayama-Ito M, Nukuzuma S, Kurane I, **Saijo M**. Long-term infection of adult mice with murine polyomavirus following stereotaxic inoculation into the brain. *Microbiology and Immunology* 54:475-482, 2010
78. Nakayama E, Yokoyama A, Miyamoto H, Igarashi M, Kishida N, Matuno K, Marzi A, Feldmann H, Ito K, **Saijo M**, Takada A. Enzyme-linked immunosorbent assay for the detection of filovirus species-specific antibodies. *Clinical and Vaccine Immunology* 17:1723-1728, 2010
79. **西條政幸**. アレナウイルス. *日本臨床* 68(増刊号):431-434, 2010
80. **西條政幸**. アレナウイルス. *臨床と微生物* 37:113-116, 2010
81. Nakamichi K, Kitani H, Takayama-Ito M, Morimoto K, Kurane I, **Saijo M**. Celastrol suppresses morphological and transcriptional responses in microglial cells upon stimulation with double-stranded RNA. *International Journal of Neuroscience* 120(4):252-257, 2010
82. Yagi T, Hattori H, Ohira M, Nakamichi K, Takayama-Ito M, **Saijo M**, Shimizu T, Ito D, Takahashi K, Suzuki N. Progressive multifocal leukoencephalopathy developed in incomplete Heerfordt syndrome, a rare manifestation of sarcoidosis, without steroid therapy responding to cidofovir. *Clinical Neurology and Neurosurgery* 112:153-156, 2010
83. Morimoto K, **Saijo M**. Imported rabies cases and preparedness for rabies in Japan (Review). *Journal of Disaster Research* 4:346-357, 2009
84. **Saijo M**, Morikawa S, Kurane I. Diagnostic systems for viral hemorrhagic fevers and emerging viral infections prepared in the National Institute of Infectious Diseases. *Journal of Disaster Research* 4:315-321, 2009
85. Saijo M. Emerging and re-emerging infection threats to society (Review). *Journal of Disaster Research* 4:291-297, 2009
86. **西條政幸**. エボラ出血熱とマールブルグ出血熱に関する最近の研究. *小児科臨床* 62:1931-1935, 2009
87. Nakauchi M, Fukushi S, **Saijo M**, Mizutani T, Ure AE, Romonowski V, Kurane I, Morikawa S. Characterization of monoclonal antibodies to Junin virus nucleocapsid protein and application to the diagnosis of hemorrhagic fever caused by South American arenaviruses. *Clinical and Vaccine Immunology* 16:1132-1138, 2009
88. **Saijo M**, Ami Y, Suzaki Y, Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Iizuka I, Shiota T, Sakai K, Ogata M, Fukushi S, Mizutani T, Sata T, Kurata T, Kurane I, Morikawa S. Virulence and pathophysiology of the Congo Basin and West African strains of monkeypox virus in nonhuman primates. *Journal of General Virology* 90:2266-2271, 2009
89. Iizuka I, **Saijo M**, Shiota T, Ami Y, Suzaki Y, Nagata N, Hasegawa H, Sakai K, Fukushi S, Mizutani T, Ogata M, Nakauchi M, Kurane I, Mizuguchi M, Morikawa S. Loop-mediated isothermal amplification-based diagnostic assay for monkeypox virus infections. *Journal of Medical Virology* 80:1102-1108, 2009
90. Saito T, Fujii T, Kanatani Y, **Saijo M**, Morikawa S, Yokote H, Takeuchi T, Kuwabara N. Clinical and immunological response to attenuated tissue-cultured smallpox vaccine LC16m8. *JAMA* 301:1025-1033, 2009

91. Sakai K, Ueno Y, Ueda S, Yada K, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Mutoh K, Yoshioka K, Nakamura M, Takehara K, Morikawa S, Mizutani T. Novel reovirus isolation from an Ostrich (*Struthio camelus*) in Japan. *Veterinary Microbiology* 134:227-232, 2008
92. **Saijo M**, Morikawa S, Kurane I. Real-time quantitative polymerase chain reaction for virus infection diagnostics. *Expert Opinion on Medical Diagnostics* 2:1155-1171, 2008
93. Watanabe S, Mizutani T, Sakai K, Kato K, Tohya Y, Fukushi S, **Saijo M**, Yoshikawa Y, Kurane I, Morikawa S, Akashi H. Ligation-mediated amplification for effective rapid determination of viral RNA sequences (RDV). *Journal of Clinical Virology* 43:56-59, 2008
94. 北本憲利, 森川茂, 西條政幸, 加藤陽二, 田中智之. 抗ワクシニアウイルス単クローン抗体のサル痘ウイルスに対する反応性とその有用性. *感染症学雑誌* 82:224-225, 2008
95. Ami Y, Nagata N, Shirato K, Watanabe R, Iwata N, Nakagaki K, Fukushi S, **Saijo M**, Morikawa S, Taguchi F. Co-infection of respiratory bacterium with SARS coronavirus includes an exacerbated pneumonia in mice. *Infection and Microbiology* 52:118-127, 2008
96. Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Fukushi S, Harashima A, Sato Y, **Saijo M**, Taguchi F, Morikawa S, Sata T. Mouse-passaged severe acute respiratory syndrome coronavirus induces an exacerbated pneumonia in mice. *American Journal of Pathology* 172:1625-1637, 2008
97. **Saijo M**, Ami Y, Suzaki Y, Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Ogata M, Fukushi S, Mizutani T, Iizuka I, Sakai K, Sata T, Kurata T, Kurane I, Morikawa S. Diagnosis and assessment of monkeypox virus (MPXV) infection by quantitative PCR assay: differentiation of Congo Basin and West African MPXV strains. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 61:140-142, 2008
98. **Saijo M**, Suzutani T, Mizuta K, Kurane I, Morikawa S. Characterization and susceptibility to antiviral agents of herpes simplex virus type 1 that codes a unique thymidine kinase gene with an amber codon between the first and the second initiation codons. *Archives of Virology* 153:303-314, 2008
99. Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Sato Y, Morikawa S, **Saijo M**, Itamura S, Saito T, Ami Y, Odagiri T, Tashiro M, Sata T. Pathology and virus dispersion in cynomolgus monkeys experimentally infected with severe acute respiratory syndrome coronavirus via different inoculation routes. *International Journal of Experimental Pathology* 88:403-414, 2007
100. Kihara Y, Saito T, Eshita Y, Sakai K, Kotaki A, Takasaki T, Rongsriyam Y, Komalamisra N, Srisawat R, Lapchoren P, Sumroiphon S, Iwanaga S, Ushijima H, Endoh D, Miyata T, Sakata A, Koshige M, Miake F, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S, Mizutani T. Rapid determination of viral RNA sequences in mosquitoes collected in the field. *Journal of Virological Methods* 146:372-374, 2007
101. Morikawa S, Saijo M, Kurane I. Recent progress in molecular biology of Crimean-Congo hemorrhagic fever. *Comparative Immunology, Microbiology and Infectious Diseases* 30:375-389, 2007
102. Fukushi S, Mizutani T, Sakai K, **Saijo M**, Taguchi F, Yokoyama M, Kurane I, Morikawa S. Amino acid substitutions in S2 region enhance SARS-CoV infectivity in rat ACE2-expressing cells. *Journal of Virology* 81:10831-10834, 2007
103. **Saijo M**, Georges-Courbot MC, Marianneau P, Romanowski V, Fukushi S, Mizutani T, Georges AJ, Kurata K, Kurane I, Morikawa S. Development of recombinant nucleoprotein-based diagnostic systems for Lassa fever. *Clinical and Vaccine Immunology* 14:1182-1189, 2007
104. Morikawa S, **Saijo M**, Kurane I. Current knowledge on lower virulence of Reston Ebola virus (in French: *Connaissances actuelles sur la moindre virulence du virus Ebola Resoton*). *Comparative Immunology, Microbiology and Infectious Diseases* 30:391-398, 2007
105. Ikejiri M, **Saijo M**, Morikawa S, Fukushi S, Mizutani T, Kurane I, Maruyama T. Synthesis and biological evaluation of nucleoside analogues having 6-chloropurine as anti-SARS-CoV agents. *Bioorganic and Medicinal Chemistry Letters* 17:2470-2473, 2007
106. Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Fukushi S, Yokoyama M, Harashima A, Sato Y, **Saijo M**, Morikawa S,

- Sata T. Participation of both host and virus factors in induction of severe acute respiratory syndrome in F344 rats infected with SARS coronavirus. *Journal of Virology* 81:1848-1857, 2007
107. Ike F, Bourqade B, Sato H, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S, Yamada Y, Jaubert J, Berard M, Nakata H, Hiraiwa N, Mekada K, Takakura A, Itoh T, Obata Y, Yoshiki A, Montagnetelli X. LCMV infection in a wild-derived mouse inbred strain undetected by dirty bedding sentinel health monitoring and revealed after embryo transfer. *Comparative Medicine* 30:391-398, 2007
108. Mizutani T, Endo D, Okamoto M, Shirato K, Arita M, Fukushi S, **Saijo M**, Sakai K, Cheng KL, Ito M, Nerome K, Takasaki T, Ishii K, Suzuki T, Kurane I, Morikawa S, Nishimura H. System for rapid determination of viral RNA sequence by whole genome amplification technology for analysis of emerging RNA viral infectious diseases. *Emerging Infectious Diseases* 13:322-324, 2007
109. Shirato K, Nishimura H, **Saijo M**, Okamoto M, Noda M, Tashiro M, Taguchi F. Diagnosis of human respiratory syncytial virus infections using reverse transcription loop-mediated isothermal amplification (RT-LAMP). *Journal of Virological Methods* 139:78-84, 2007
110. Ikejiri, M., **Saijo M**, Morikawa, S., Fukushi, S., Mizutani, T., Kurane, I., and Maruyama, T.: Anti-SARS-CoV activity of nucleoside analogs having 6-chloropurine as a nucleobase. *Nucleic Acids Symposium Series* 50:113-114, 2006
111. **Saijo M**, George-Courbot MC, Fukushi S, Mizutani T, Philippe M, Georges AJ, Kurane I, Morikawa S. Marburgvirus nucleoprotein-capture enzyme-linked immunosorbent assay using monoclonal antibodies to recombinant nucleoprotein detection of authentic Marburgvirus. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 59:323-325, 2006
112. **Saijo M**, Ami Y, Suzaki Y, Nagata N, Iwata N, Hasegawa H, Ogata M, Fukushi S, Mizutani T, Sata T, Kurata T, Kurane I, Morikawa S. Highly attenuated vaccinia vaccine, LC16m8, lacking B5R membrane protein expression protects monkeys from monkeypox. *Journal of Virology* 80:5179-5188, 2006
113. Mizutani T, Fukushi S, Ishii K, Sasaki Y, Kenri T, **Saijo M**, Kanaji Y, Shirato K, Kurane I, Morikawa S. Mechanism of establishment of persistent SARS-CoV-infected cells. *Biochemical and Biophysical Research Communication* 347:261-265, 2006
114. **Saijo M**, Tang Q, Shimayi B, Han L, Zhang Y, Asiguma M, Tianshu D, Maeda A, Kurane I, Morikawa S. Antigen-capture enzyme-linked immunosorbent assay for the diagnosis of Crimean-Congo hemorrhagic fever using a novel monoclonal antibody. *Journal of Medical Virology* 77:83-88, 2006
115. Fukushi S, Mizutani T, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Evaluation of a vesicular stomatitis virus pseudotype-based assay for detection of valuable for SARS-CoV neutralizing antibody responses to SARS-CoV. *Journal of Medical Virology* 78:1509-1512, 2006
116. Mizutani T, Fukushi S, Iizuka D, Inanami O, Kuwabara M, Takashima H, Yanagawa H, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Inhibition of cell proliferation by SARS-CoV infection in Vero E6 cells. *FEMS Immunology and Medical Microbiology* 46:236-243, 2006
117. Mizutani T, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Regulation of p90RSK phosphorylation by SARS-CoV infection in Vero E6 cells. *FEBS Letter* 580:1417-1424, 2006
118. **Saijo M**, Niikura M, Ikegami T, Kurane I, Kurata T, Morikawa S. Laboratory diagnostic system for Ebola and Marburg hemorrhagic fevers developed with recombinant proteins. *Clinical and Vaccine Immunology* 13:444-451, 2006
119. **Saijo M**, Niikura M, Maeda A, Sata T, Kurata T, Kurane I, Morikawa S. Characterization of monoclonal antibodies to Marburg virus nucleoprotein (NP) that can be used for NP-capture enzyme-linked immunosorbent assay. *Journal of Medical Virology* 76:111-118, 2006
120. **西條政幸**. 今話題の新興・再興ウイルス感染症. 地域と住民(市立名寄短期大学道北地域研究所) 24:97-106, 2006
121. **Saijo M**, Ogino T, Taguchi F, Fukushi S, Mizutani T, Notomi T, Kanda H, Minekawa H, Matsuyama S,

- Long HT, Hanh NTH, Kurane I, Tashiro M, Morikawa S. Recombinant nucleocapsid protein-based IgG enzyme-linked immunosorbent assay for the serological diagnosis of SARS. *Journal of Virological Methods* 125(2):181-186, 2005
122. **Saijo M**, Suzutani T, Morikawa S, Kurane I. Genotypic characterization of the DNA polymerase and sensitivity to antiviral compounds of foscarnet resistant HSV-1 derived from a foscarnet-sensitive herpes simplex virus type 1. *Antimicrobiol Agents and Chemotherapy* 49:606-611, 2005
123. Morikawa S, Sakiyama T, Hasegawa H, **Saijo M**, Maeda A, Kurane I, Maeno G, Kimura C, Yoshida T, Asahi-Ozaki Y, Sata T, Kurata T, Kojima A. An attenuated LC16m8 smallpox vaccine: analysis of full-genome sequence and induction of immune protection. *Journal of Virology* 79:11873-11891, 2005
124. **Saijo M**, Morikawa S, Fukushi S, Mizutani T, Hasegawa H, Nagata N, Iwata N, Kurane I. Inhibitory effect of mizoribine and ribavirin on the replication of severe acute respiratory syndrome (SARS)-associated coronavirus. *Antiviral Research* 66:159-163, 2005
125. **Saijo M**, Tang Q, Shimayi B, Han L, Zhang Y, Asiguma M, Tianshu D, Maeda A, Kurane I, Morikawa S. Recombinant nucleoprotein-based serological diagnosis of Crimean-Congo hemorrhagic fever virus infections. *Journal of Medical Virology* 75:295-299, 2005
126. Mizutani T, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. JNK and PI3K/Akt signaling pathways are required for establishing persistent SARS-CoV-infection in Vero E6 cells. *Biochimica et Biophysica Acta (BBA)-Molecular Basis of Disease* 1741:4-10, 2005
127. Fukushi S, Mizutani T, **Saijo M**, Matsuyama S, Miyajima N, Taguchi F, Itamura S, Kurane I, Morikawa S. Vesicular stomatitis virus pseudotyped with severe acute respiratory syndrome coronavirus spike protein. *Journal of General Virology* 86:2269-2274, 2005
128. Hatakeyama S, Moriya K, **Saijo M**, Morisawa Y, Kurane I, Koike K, Kimura S, Morikawa S. Persisting humoral anti-smallpox immunity among the current Japanese population after the discontinuation in 1976 of routine smallpox vaccinations. *Clinical and Diagnostic Laboratory Immunology* 12(4):520-524, 2005
129. **西條政幸**. 新興・再興ウイルス感染症. *小児感染免疫* 17:225-229, 2005
130. Mizutani T, Fukushi S, Murakami M, Hirano T, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Tyrosine dephosphorylation of STAT3 in SARS coronavirus-infected Vero E6 cells. *FEBS letter* 5;577(1-2):187-92, 2004
131. **Saijo M**, Tang Q, Shimayi B, Han L, Zhang Y, Asiguma M, Tianshu D, Maeda A, Kurane I, Morikawa S. Possible horizontal transmission of Crimean-Congo hemorrhagic fever virus from a mother to her child. *Japanese Journal of Infectious Diseases* 57:55-57, 2004
132. Mizutani T, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Importance of Akt signaling pathway for apoptosis in SARS-CoV-infected Vero E6 cells. *Virology* 327:169-74, 2004
133. Mizutani T, Fukushi S, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Phosphorylation of p38 MAPK and its downstream targets in SARS coronavirus-infected cells. *Biochemical Biophysical Research Communication* 319: 1228-1234, 2004
134. Niikura M, Maeda A, Ikegami T, **Saijo M**, Kurane I, Morikawa S. Modification of endothelial cell functions by hantaan virus infection: prolonged hyper-permeability induced by TNF-alpha of hantaan virus infected endothelial cell monolayers. *Archives of Virology* 149:1279-92, 2004
135. **西條政幸**, 森川茂, 倉根一郎: クリミア・コンゴ出血熱. *ウイルス* 54:223-228, 2004
136. Tang Q, **Saijo M**, Zhang Y, Asiguma M, Dong T, Han L, Shimayi B, Maeda A, Kurane I, Morikawa S. A patient with Crimean-Congo hemorrhagic fever diagnosed with recombinant nucleoprotein-based antibody detection systems. *Clinical and Diagnostic Laboratory Immunology* 10:489-491, 2003
137. Tang Q, **Saijo M**, Lei H, Maeda A, Ikegami T, Xinjung W, Kurane I, Morikawa S. Detection of immunoglobulin G to Crimean-Congo hemorrhagic fever virus in sheep sera by nucleoprotein-based enzyme-linked immunosorbent and immunofluorescence assays. *Journal of Virological Methods* 108:111-116,

2003

138. Suzutani T, Ishioka K, De Clercq E, Ishibashi K, Kaneko H, Kira T, Hashimoto K, Ogasawara M, Ohtani K., Wakamiya N, **Saijo M**. Differential mutation patterns in thymidine kinase and DNA polymerase genes of herpes simplex virus type 1 clones passaged in the presence of acyclovir or penciclovir. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy* 47:1707-1713, 2003
139. Ikegami T, **Saijo M**, Niikura M, Miranda ME, Calaor AB, Fernandez M, Manalo DL, Kurane I, Yoshikawa Y, Morikawa S. Immunoglobulin G enzyme-linked immunosorbent assay using truncated nucleoproteins of Reston Ebola virus. *Epidemiology and Infection* 130:533-539, 2003
140. Ikegami T, Niikura M, **Saijo M**, Miranda ME, Calaor AB, Hernandez M, Acosta LP, Manalo DL, Kurane I, Yoshikawa Y, Morikawa S. Antigen-capture enzyme-linked immunosorbent assay that specifically detects Reston ebola virus nucleoprotein. *Clinical and Diagnostic Laboratory Immunology* 10:552-557, 2003
141. Maeda A, Hee LB, Yoshimatsu K, **Saijo M**, Kurane I, Arikawa J, Morikawa S. The intracellular association of the nucleocapsid protein (NP) of Hantaan virus (HTNV) with small ubiquitin-like modifier-1 (SUMO-1). *Virology* 305, 288-297, 2003
142. Niikura M, Ikegami T, **Saijo M**, Kurata T, Kurane I, Morikawa S. Analysis of linear B cell epitopes on the nucleoprotein of Ebola virus that distinguish Ebola subtypes. *Clinical and Diagnostics Laboratory Immunology* 10:83-87, 2003
143. **Saijo M**, Suzutani T, De Clercq E, Maeda A, Morikawa S, Kurane I. Genotypic and phenotypic characterization of the thymidine kinase of ACV-resistant HSV-1 derived from an acyclovir-sensitive herpes simplex virus type 1 strain. *Antiviral Research* 56:253-262, 2002
144. **Saijo M**, Yasuda Y, Yabe H, Kato S, Suzutani T, de Clercq E, Niikura M, Maeda A, Kurane I, Morikawa S. Bone marrow transplantation in a child with Wiskott-Aldrich syndrome latently infected with acyclovir-resistant (ACVr) herpes simplex virus type 1: emergence of foscarnet-resistant virus originating from the ACVr virus. *Journal of Medical Virology* 68:99-104, 2002
145. **Saijo M**, Tang Q, Niikura M, Maeda A, Ikegami T, Kurane I, Morikawa S. Recombinant nucleoprotein based enzyme-linked immunosorbent assay for detection of immunoglobulin G to Crimean-Congo hemorrhagic fever virus. *Journal of Clinical Microbiology* 40:1587-1591, 2002
146. **Saijo M**, Tang Q, Niikura M, Maeda A, Ikegami T, Kurane I, Prehaud C, Morikawa S. Immunofluorescence technique using HeLa cells expressing recombinant nucleoprotein of Crimean-Congo hemorrhagic fever virus. *Journal of Clinical Microbiology* 40:372-375, 2002
147. **Saijo M**, Suzutani T, Niikura M, Morikawa S, Kurane I. Importance of C-terminus of herpes simplex virus type 1 thymidine kinase for maintaining thymidine kinase and acyclovir-phosphorylation activities. *Journal of Medical Virology* 66:388-393, 2002
148. Ikegami T, Miranda ME, Calaor AB, Manalo DL, Miranda NJ, Niikura M, **Saijo M**, Une Y, Nomura Y, Kurane I, Ksiazek TG, Yoshikawa Y, Morikawa S. Histopathology of natural Ebola virus subtype Reston infection in Cynomolgus Macaques during the Philippine outbreak in 1996. *Experimental Animals* 51: 447-455, 2002
149. Ikegami T, **Saijo M**, Niikura M, Miranda MEG, Calaor AB, Hernandez M, Manalo DL, Kurane I, Yoshikawa Y, Morikawa S. Development of an immunofluorescence method for detection of antibodies to Ebola virus subtype Reston by the use of recombinant nucleoprotein-expressing HeLa cells. *Microbiology and Immunology* 46:633-638, 200 2
150. Murono K, Hirano Y, Zhang J, **Saijo M**, Fujita K. Molecular epidemiology of methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* in a pediatric ward. *Pediatric International* 44:24-27, 2002
151. Niikura M, Takamura S, Kim G, Kawai S, **Saijo M**, Morikawa S, Kurane I, Li T-C, Takeda N, Yasutomi Y. Chimeric recombinant hepatitis E virus-like particles as an oral vaccine vehicle presenting foreign epitopes. *Virology* 293:273-280, 2002

152. Morikawa, S., Qing, T., Xinqin, Z., **Saijo M**, and Kurane, I.: Genetic diversity of the M RNA segment among Crimean-Congo hemorrhagic fever virus isolates in China. *Virology* 296:159-164, 2002
153. **Saijo M**, Niikura M, Morikawa S, Ksiazek TG, Meyer RF, Peters CJ, Kurane I. Enzyme-linked immunosorbent assays for detection of antibodies to Ebola and Marburg viruses using recombinant nucleoproteins. *Journal of Clinical Microbiology* 39:1-7, 2001
154. **Saijo M**, Niikura, M., Morikawa, S., Kurane, I.: Immunofluorescence method for detection of Ebola virus immunoglobulin G, using HeLa cells which express recombinant nucleoprotein. *Journal of Clinical Microbiology* 39:776-778, 2001
155. Ikegami T, Calaor AB, Miranda ME, Niikura M, **Saijo M**, Kurane I, Yoshikawa Y, Morikawa S. Genome structure of Ebola virus subtype Reston: differences among Ebola subtypes. *Archives of Virology* 146:2021-2027, 2001
156. Niikura, M., Ikegami, T., **Saijo M**, Kurane, I., Miranda, M.E., and Morikawa, S.: Detection of Ebola viral antigen by enzyme-linked immunosorbent assay using a novel monoclonal antibody to nucleoprotein. *Journal of Clinical Microbiology* 39:3267-3271, 2001
157. Nagamine M, Suzutani T, **Saijo M**, Hayashi K, Azuma M. Comparison of polymorphism of thymidine kinase gene and restriction fragment length polymorphism of genomic DNA in herpes simplex virus type 1. *Journal of Clinical Microbiology* 38:2750-2752, 2000
158. Suzutani T, **Saijo M**, Nagamine M, Ogasawara M, Azuma M. Rapid phenotypic characterization method for herpes simplex virus and Varicella-Zoster virus thymidine kinases to screen for acyclovir-resistant viral infection. *Journal of Clinical Microbiology* 38:1839-1844, 2000
159. **Saijo M**, Suzutani T, Itoh K, Hirano Y, Muroso K, Nagamine M, Mizuta K, Niikura M, Morikawa S. Nucleotide sequence of thymidine kinase gene of sequential acyclovir-resistant herpes simplex virus type 1 isolates recovered from a child with Wiskott-Aldrich syndrome: evidence for reactivation of acyclovir-resistant herpes simplex virus. *Journal of Medical Virology* 58:387-393, 1999
160. Muroso K, Fujita K, **Saijo M**, Hirano Y, Zhang J, Murai T. Emergence and spread of a new clone of M type 1 group A streptococcus coincident with the increase in invasive diseases in Japan. *Pediatric Infectious Disease Journal* 18: 254-257, 1999
161. **Saijo M**, Terunuma H, Mizuta K, Mpabalwani EM, Monze M, Oshitani H, Luo N, Suzuki H, Numazaki Y. Respiratory syncytial virus infection in children with acute respiratory infections in Zambia. *Epidemiology and Infection* 121:397-400, 1998
162. **Saijo M**, Suzutani T, Muroso K, Hirano Y, Itoh K. Recurrent aciclovir-resistant herpes simplex in a child with Wiskott-Aldrich syndrome. *British Journal of Dermatology* 139:311-314, 1998
163. Chiba A, Suzutani T, **Saijo M**, Koyano S, Azuma M. Analysis of nucleotide sequence variations in herpes simplex virus type 1 and 2, and varicella-zoster virus. *Acta Virologica* 42:401-407, 1998
164. **西條政幸**: Wiskott-Aldrich 症候群患者から分離されたアシクロビル耐性単純ヘルペスウイルス 1 型の生物学のおよび分子生物学的特性. *日本小児科学会雑誌* 102: 402-409, 1998
165. Suzutani T, Koyano S, **Saijo M**, Chiba A, Azuma M. Analysis of the non-sense mutants of varicella-zoster virus thymidine kinase. *Archives of Virology* 142:2059-2064, 1997
166. Mizuta K, Oshitani H, **Saijo M**, Mpabalwani EM, Kasolo FC, Luo NP, Suzuki H, Numazaki Y. Epidemiology of influenza virus infections in children with acute respiratory infections in Zambia. *Annals of Tropical Paediatrics* 17:115-119, 1997
167. 小林裕, 砂川慶介, 藤田晃三, **西條政幸**, 室野晃一, 坂田宏, 丸山静男, 印鑰史衛, 豊永義清, 岩田敏, 目黒英典, 寺嶋周, 石川信泰, 大嶋寛子, 上原すゞ子, 中村明, 崎知道, 鴨下信彦, 大川澄男, 清水節, 尾崎亮, 福岡佳代, 秋田博伸, 横田隆夫, 青山辰夫, 武内可尚, 佐藤吉壮, 中村はるひ, 岩井直一, 種田陽一, 神谷齊, 北村賢司, 山田克彦, 西村忠史, 杉田久美子, 森川嘉郎, 小林陽之助, 谷内昇一郎, 卯西元, 春田恒和, 岡田隆滋, 遠藤彰一, 福田邦明, 古川正強, 尾内一信, 山田孝, 阪田保隆, 本廣孝, 藤井良知: 本邦 27 施設における 1981 年以降 14 年

- 間の小児化膿性髄膜炎の起炎菌の動向. 感染症学雑誌 71:1017-1024, 1997
168. **西條政幸**, 藤田晃三:原因ウイルス別神経感染症. ムンプスウイルス. 日本臨床 55:870-875, 1997
169. **Saijo M**, Ishii T, Kokubo M, Muroho K, Takimoto M, Fujita K. White blood cell count, C-reactive protein and erythrocyte sedimentation rate in respiratory syncytial virus infection of the lower respiratory tract. Acta Paediatrica Japonica 38:596-600, 1996
170. Mpabalwani EM, Monze M, **Saijo M**, Terunuma H, Luo NP. Poliomyelitis outbreak in Zambia. Lancet 347:1633, 1996
171. **西條政幸**, 石井拓磨, 小久保雅代, 成田奈津子, 伊藤善也, 滝本昌俊, 高橋庸二. 救急外来を受診する小児の受診理由および即時入院例の検討. 小児科臨床 49:2481-2487, 1996
172. **西條政幸**. 下気道感染症の治療. 臨床小児医学 44:55-59, 1996
173. 坂井博之, **西條政幸**, 東寛, 飯塚一. Wiskott-Aldrich 症候群. 皮膚臨床 38:83-86, 1996
174. **Saijo M**, Saijo H, Yamamoto M, Takimoto M, Muroho K, Fujita K. Thrombocytopenic purpura associated with primary human herpesvirus 6 infection. Pediatric Infectious Disease Journal 14:405, 1995
175. **西條政幸**, 東寛, 錫谷達夫, 古谷野伸, 津田尚也, 徳光亜矢, 井上裕靖, 池上和洋, 藤田晃三, 奥野晃正. Wiskott-Aldrich 症候群患者におけるアシクロビル耐性単純ヘルペスウイルス1型感染症と分離ウイルスの生化学的特性. 日本小児科学会雑誌 99:1804-1809, 1995
176. **西條政幸**, 山本美智雄, 西條晴美, 滝本昌俊. 幼若乳児の気道感染症と respiratory syncytial virus. 感染症学雑誌 69: 68-72, 1995
177. **西條政幸**, 山本美智雄, 西條晴美, 藤保洋明, 滝本昌俊. 血清学的に証明された human herpesvirus-6 初感染に合併した血小板減少性紫斑病の1例. 感染症学雑誌 69: 316-319, 1995
178. **Saijo M**, Takahashi S, Kokubo M, Saino T, In-Yaku F, Ishii T, Takimoto M, Takahashi Y. The role of respiratory syncytial virus in acute bronchiolitis in small children in northern Japan. Acta Paediatrica Japonica 36: 371-374, 1994
179. **Saijo M**, Ishii T, Kokubo M, Takimoto M, Takahashi Y. Respiratory syncytial virus infection in lower respiratory tract and asthma attack in hospitalized children in North Hokkaido, Japan. Acta Paediatrica Japonica 35(3):233-237, 1993
180. Muroho K, Fujita K, Yoshikawa M, **Saijo M**, In-yaku F, Kakehashi H, Tsukamoto T. Acquisition of nonmaternal enterobacteriaceae by infants delivered in hospitals. Journal of Pediatrics 122:120-125, 1993
181. **西條政幸**, 石井拓磨, 小久保雅代, 滝本昌俊, 高橋庸二. 生後3ヶ月以内の乳児の respiratory syncytial virus 下気道感染症. 日本小児科学会雑誌 97:2473-2477, 1993
182. 角谷不二雄, 藤田晃三, 伊藤真也, 室野晃一, 石岡透, **西條政幸**. 生後1ヶ月児の糞便および血清中ビタミン K濃度と腸内細菌叢 母乳栄養と人口栄養の比較. 日本小児科学会雑誌 97:7-12, 1993
183. 小久保雅代, **西條政幸**, 滝本昌俊, 高橋庸二, 北原学. 尿閉により膀胱が腹部腫瘤状を呈した横断性脊髄炎の1例. 臨床小児医学 41:61-66, 1993
184. 藤田晃三, 室野晃一, 吉河道人, 奥野晃正, 丸山静男, 坂田宏, 長和彦, 伊藤淳一, 楠祐一, 田崎卓見, 鈴木直己, 長谷川浩, 滝本昌俊, **西條政幸**, 井関憲一, 土田晃, 印やく史衛, 梶野真弓, 埴山雅人, 清水重男, 佐々木一弘, 上田大輔. 小児感染症患者における cefpodoxime proxetil ドライシロップの投与回数と臨床効果および副作用の検討. 小児科臨床 46:2697-2702, 1993
185. 滝本昌俊, 山本美智雄, 小久保雅代, 石井拓磨, **西條政幸**, 高橋庸二, 平沼法義, 加藤光宏, 伊藤亮二. 名寄地方における小児の日本海裂頭条虫症. 名寄市立病院医誌 1:24-26, 1993
186. **西條政幸**, 藤田晃三:抗ウイルス剤の現況. 臨床泌尿器科 47:70-74, 1993
187. **Saijo M**, Suzutani T, Yoshida I. Effects of acyclovir, oxetanocin-G and carbocyclic oxetanocin-G in combinations on the replications of herpes simplex virus type 1 and 2 in Vero cells. Tohoku Journal of Experimental Medicine 167:57-68, 1992
188. **西條政幸**, 小久保雅代, 石井拓磨, 成田奈津子, 伊藤善也, 滝本昌俊, 高橋庸二. 北海道北部の急性胃腸炎の疫学および臨床的研究 -名寄市立総合病院小児科の最近の3年間の入院患者例の検討-. 臨床小児医学

40:277-282, 1992

189. **西條政幸**, 吉河道人, 清水重男, 室野晃一, 鈴木豊, 岡敏明, 藤田晃三, 大島宏之, 宮本和俊, 鮫島夏樹, 岡村俊二, 高橋庸二. 術後化学療法が奏効した肝芽腫の2例. 臨床小児医学 40:197-202, 1992
190. 藤田晃三, 室野晃一, **西條政幸**, 吉岡一, 丸山静男, 坂田宏, 印鑰史衛. 小児における meropenem の臨床投与成績と薬物動態及び糞便内菌叢への影響. Japanese Journal of Antibiotics 66:718-726, 1992
191. 藤田晃三, 室野晃一, 吉河道人, 坂田宏, 丸山静男, **西條政幸**, 滝本昌俊, 高橋庸二, 印鑰史衛, 楠祐一, 村井貞子, 稲積温子, 岸下雅通, 山崎伸二, 竹田美文. 非化膿性合併症, 重症感染症患者から分離された A 群溶連菌の性状. 感染症学雑誌 66(11):1497-1501, 1992
192. 藤田晃三, 室野晃一, 吉河道人, 奥野晃正, 丸山静男, 坂田宏, 藤田正文, 石田千佳子, 伊藤淳一, 楠木祐一, 田崎卓見, 鈴木直己, 長谷川浩, 高橋庸二, 滝本昌俊, **西條政幸**, 井関憲一, 印鑰史衛, 梶野真弓, 埴山雅人, 清水重男, 佐々木一弘. 小児感染症患者における ceftoram pivoxil 細粒の投与量と臨床効果および副作用の検討. 小児科臨床 45:2385-2392, 1992
193. Sakuma T, **Saijo M**, Suzutani T, Yoshida I, Saito I, Kitagawa M, Hasegawa S, Azuma M. Antiviral activity of oxetanocins against varicella-zoster virus. Antimicrobial Agents and Chemotherapy 35:1512-1514, 1991
194. **西條政幸**, 石井拓磨, 滝本昌俊, 高橋庸二, 宮本健司. Paromomycin で治療し頭節の排出を確認し得た広節裂頭条虫症の1小児例. 臨床小児医学 39:247-250, 1991
195. **西條政幸**, 佐々木一弘, 室野晃三, 坂田宏, 東寛, 藤田晃三, 吉岡一. 糞便中アデノウイルス検出用ラテックス凝集反応キット(アデノレックス)のアデノウイルス気道感染症の迅速診断への応用. 臨床と微生物 17:345-349, 1990
196. **西條政幸**, 藤田晃三. 抗ウイルス剤の使い方. Medicina 27:1166-1168, 1990
197. 矢野公一, **西條政幸**, 伊藤善也, 三田村亮, 奥野晃正. Hypothalamic hamartoma による思春期早発症の1例. 日独医報 34:396-399, 1989